

- 1 教育事業名 「平成30年度教員免許状更新講習」  
～自然体験活動から子供達の生きる力を～
- 2 ねらい 自然体験活動の意義を理解し、活動に伴う安全管理の意識を高めるとともに学校における体験活動の指導法の工夫改善に資するなど、教員の資質向上を図る。
- 3 期 日 平成30年8月1日（水）～3日（金） 2泊3日
- 4 場 所 国立沖縄青少年交流の家
- 5 募集人数 50名
- 6 参加人数 44名
- 7 参加者内訳 小学校14名・中学校10名・高校18名・特別支援学校1名・こども園1名  
（男性26名 女性18名）（県内36名 県外8名）
- 8 講 師 井上 講四 氏（元琉球大学教育学部学部長）  
講義「生涯学習社会における学校教育・社会教育」  
平野 貴也 氏（名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科教授）  
講義「体験活動の意義と学習指導要領」  
実習「体験活動の指導法② ～マリン活動～」  
東恩納 玲代 氏（名桜大学人間健康学部スポーツ健康学科准教授）  
実習「体験活動の指導法① ～レクリエーションの基本と実技」  
北見 靖直 氏（国立阿蘇青少年交流の家次長）  
講義「体験活動の指導法③ ～体験活動の安全確保と安全指導～」  
実技「体験活動の指導法④ ～野外炊事～」  
講義・実習「体験学習の指導法⑤ ～体験活動とフィードバック～」

9 実施プログラム

	9:00	10:00	11:30	12:00	13:00	15:00	17:00	19:00	21:00	
8月1日（水）	とまりん集合	乗船	フェリーとかしき	開講式	昼食	講義「生涯学習社会における学教教育・社会教育」	講義「体験活動の意義と学習指導要領」	夕食 入浴	実習「体験活動の指導法① レクリエーションの基本と実技」	
8月2日（木）	朝のつどい 朝食	移動	実習「体験活動の指導法② マリン活動」	12:00	13:00 昼食	15:00 講義「体験活動の指導法③ 体験活動の安全確保と安全指導」	17:00 実習「体験活動の指導法④ 野外炊事」	19:00 移動	19:30 入浴 清掃	21:00 情報交換会
8月3日（金）	朝のつどい 朝食	清掃	講義「体験活動の指導法⑤ 体験活動とフィードバック」	12:00 グループ発表会	13:00 昼食	13:30 14:30 まとめの時間 履修認定試験	16:00 17:10 閉講式	移動	フェリーとかしき	那覇市泊港解散

## 10 事業の様子



講義①



講義③



実習①：レクリエーション



実習④：火おこし



実習④：野外炊事



班ごとに振り返りを発表



実習②：マリン活動（オープンカヤック）

## 11 エピソード（参加者の声や観察より）

- ・講義の合間に話し合い活動も入れてくださり、主体的に学べた。
- ・体験活動が多く具体的であった。
- ・他県の先生や他校種の先生方と交流して情報が得られてよかった。プログラムも充実していた。
- ・実践例が盛りだくさん。ここでしか学べない事だと感じた。
- ・安全管理に関して学んだことが私の中で一番勉強になった。教育者として何よりも大切にしなければいけないのが児童の安全なので講義を受けることができてよかった。
- ・様々なヒントがもらえた。今後の授業や行事運営の参考にしたい。
- ・今までの自分にはできないような指導の方法を知ることができた。
- ・1日目に理論を勉強し、2日目は体験し、3日目に振り返りをして学習者に指導法が身につくように考えられていた。
- ・明日からの実践につかえるような知識や技能を得ることができた。
- ・学校ではなかなかできない体験活動の重要性を学べ、とても有意義だった。
- ・安全への注意、その指導方法などが学べた。特に安全に関しては、自分自身、生徒の要望に応えてしまって安全確保がおろそかになる事もあったので、身がひきしまる思いがした。
- ・体験活動の講義では、具体例をおりまぜながら、途中のゲームもメリハリがきいてよかった。
- ・安全に楽しく、充実した指導法が学べた。今後実践しやすい講義・実習だった。
- ・体験活動の大切さを伝えるべき教師である自分自身が、しっかり体験活動のことをより理解しなければならなかったと感じた。

- ・体験プログラムを考える時のポイントが明確になった。
- ・「体験する」というとどうしても「ただ楽しく」という意識になりがちだが、そこにはたくさん  
の意味と意義があるのがよくわかった。
- ・自分が体験し、それを子供達に楽しく体験させる活動が今後できたらいいと感じた。
- ・初めから終わりまで講習の内容（ねらい）が連動していて深く学べた。
- ・体験活動の必要性と学習指導要領に反映される意義がよく理解できた。

## 1 2 担当者所見

### 【成果】

- ・講義では生涯学習社会についてや体験活動の意義と学習指導要領との関連、安全確保と安全指導等について、講話と実践的な具体例を体験しながら学び、教員としての資質を高めていた。
- ・3日間の講義・実習をとおして、安全管理の必要性や重要性、留意点を理解すること。また、野外炊事、レクリエーション、マリン活動をとおして、体験活動の意義を再確認すると共に学校等の現場で活用できる指導法を学んだ。これに加え、他県、他校種の教諭との交流をとおして学校現場における情報交換がなされたことは、今後、教諭としてより一歩進んだ学習支援と指導に資するものとする。

### 【課題】

マリン活動時に天気が崩れ、研修の中断を余儀なくされた。講師との連携のもと、荒天時プログラムの工夫、改善を図る必要がある。

